



鹿を丸ごと1頭有効活用できる「シカ有効活用処理施設」(氷上町谷村)が完成。大型冷蔵庫を備え、年間1,000頭の受け入れが可能です

鹿の有効活用がもたらす好循環
4月16日(水)に、「シカ有効活用処理施設」(運営:鹿加工組合丹波)がオープン。一つの施設で鹿の解体から精肉・包装までを行い、年間捕獲頭数の約半数にあたる1,000

市内の小売店、飲食店のみなさんへ

鹿肉消費拡大奨励金
をご活用ください

HP

市内の加工業者などから鹿肉を仕入れた場合に、仕入価格の30%を補助します。

詳しくは、新産業創造課(春日庁舎内)
☎ 74-1464 まで

鹿の有効活用で地域課題を解決 鹿肉が食卓にならぶ日



鹿を取り巻く現状

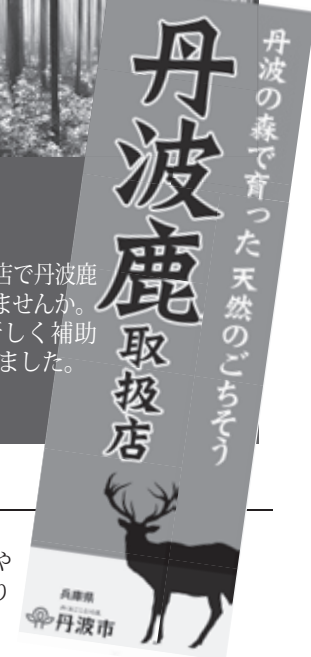
丹波市では、農林業に多大な被害をもたらす鹿を年間約2,000頭捕獲。しかし、その大半が山に埋められており、環境衛生面で大きな課題を残してきました。

市では、鳥獣害の代表格である鹿を地域資源と捉え、有効活用を推進。鹿を使用した加工品の商品化支援などに取り組んできたことや鹿肉料理を提供するレストランがオープンしたことで、「丹波鹿ブランド」としての認識が徐々に広がりを見せてきました。しかし、鹿の供給量が不安定なうえ、牛肉に比べて卸売価格が高いことが本格的な鹿肉の需要拡大を阻んでいました。

頭の処理が可能に。食肉用だけでなく、ドッグフードや皮革の原料など、1頭の鹿を丸ごと有効活用できるようになりました。また、市内の小売店や飲食店が鹿肉を仕入れた場合に、仕入れ価格の30%を補助する制度がスタート。小売価格を下げることで、家庭でも鹿肉のおいしさにふれる機会を増やし、食文化としての浸透を図ります。これらの取り組みが農林業への被害を軽減させるとともに、地域経済に潤いをもたらす、地域課題の解決と産業の活性化を同時に図るモデルケースとなることが期待されます。



あなたのお店で丹波鹿を取り扱いませんか。市では、新しく補助制度を設けました。



丹波の森からの贈り物 鹿肉をもっと身近に
鹿肉レシピとガイドブックが完成しました

→鹿肉を取り扱う小売店や飲食店の目印となるのぼり

鹿肉は、ヨーロッパでは古くからジビエ料理として高級レストランで親しまれてきた食材です。そんな森のごちそうを家庭でも手軽に味わえたり、鹿について学んだりすることができる冊子「丹波の森からの贈り物」が完成しました。レシピとガイドブックを通して鹿肉の魅力にふれてみませんか。



←「鹿肉レシピ」
鹿肉を使ったハンバーグや生春巻など、鹿肉料理をまとめたレシピ集。素材の特徴を生かした20種類の本格レシピが掲載されています。市内で鹿肉を取り扱うお店などに設置されます



↑「丹波鹿ガイドブック」
鹿による農林業被害の実情や鹿肉処理加工の現場、市内の鹿肉取扱店などを紹介。鹿を取り巻く現状がよくわかるガイドブックです



↓レシピ検索サイト「クックパッド」には、丹波鹿を使った100のレシピを掲載。検索サイトで「クックパッド兵庫県丹波市」で閲覧できます



①キッズテニス教室がスタート。まずは、ウォーミングアップから ②700人を超える観衆でにぎわう会場 ③正しいスイングフォームを教える松岡さん ④高校生以上を対象にした本格的なテニスクリニックも実施

⑤子どもたちを指導する表情は真剣そのもの ⑥子どもたちと握手を交わす光景があちらこちらで見られました ⑦松岡さんとのふれあいを楽しめるコーナーも ⑧テニスグッズが当たるお楽しみ抽選会も行われました

丹波市制 10 周年記念事業

「三ッ塚ふれあいセンター愛育館」が熱く燃えた日

NHK
スポーツパーク

松岡修造のテニスパークに 700 人

「夢を見つけてほしい」

ウィンブルドンでベスト8進出を果たすなど、世界で活躍したプロテニスプレーヤーの松岡修造さん。4月20日(日)に、三ッ塚ふれあいセンター愛育館で、「NHKスポーツパーク 松岡修造のテニスパーク」が行われ、約700人の観衆が見守るなか、松岡さんが、キッズの部と一般の部に参加した約120人に熱血指導を行いました。

「キッズクリニック」に参加した小学1年生から4年生の子どもたちは、入念に準備運動を行った後、スポンジボールと短いラケットを使って、テニスの基本動作を学びました。「集中、集中!」「失敗しても大丈夫!」など、励ましの声をかける松岡さん。一所懸命の指導に、子どもたちも真剣な表情でテニスと向かい合いました。

続いて行われた高校生以上を対象にした「一般クリニック」では、松岡さんが、理想的なスイングフォームを披露したり、参加者に球出しを行ったりと、技術の向上をめざした本格的な指導が行われました。

松岡さんは終わりに、「最近、自分の夢を答えられない子どもたちがいる。まずは、いろんなことにチャレンジして、好きなこと、打ち込めることを見つけてほしい」と子どもたちにエールを送りました。